

令和3年度 栃木県中学校春季体育大会 大会規定

※栃木県中学校春季体育大会バドミントン大会【感染防止対策】にのっとり大会を行う。

1. 競技規則

- (1) 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則に準じて行うが、得点制限を設ける。
- (2) すべての試合を15ポイント3ゲームマッチで行う。
延長ポイントは最大21ポイントまでとする。
- (3) インターバルはゲーム間のみとする。
- (4) ファイナルゲームはどちらか一方が8ポイントになった時点でチェンジエンズのみ行う。インターバルの時間は設けない。
- (5) シャトルは(公財)日本バドミントン協会2種検定合格水鳥球を使用する。

2. 競技方法

- (1) 団体戦・個人戦ともに、トーナメント戦で行う。
3位決定戦は、同地区のときは行わない。
- (2) 団体戦は、2複1単の対抗戦とし、複・単・複の順に行う。(2コート以上で試合を並行して行うこともある。)
- (3) 団体戦は、2試合先取で終了とする。
- (4) 団体戦の選手は5名～7名とする。特別な事情のない限り、団体戦の試合開始時点で5名未満の場合は棄権とする。
- (5) 団体戦・個人戦ともに単・複は兼ねられない。

3. 競技上の注意

- (1) 意図的に試合進行を遅らせる行為は厳禁。汗ふきや靴ひもの締め直し、ラケット交換等は必ず主審の許可を得ること。
- (2) 審判への抗議は認めない。不審な点があれば、当該選手が主審に礼儀正しく質問すること。
- (3) 試合中の給水についてはインターバル中を原則とする。その際、ふたが確実にしまり倒れてもこぼれない容器を使用するとともに、水滴が床につかないようにすること。
- (4) 予備のラケット、着替え、飲み物等は、各自バッグ等を用意してコート再度に置くこと。

4. 審判上の注意

- (1) 団体戦の審判について
 - ・ 審判3名(主審1名・線審2名)と補助員1名(得点係)で行う。
 - ・ 最初の試合は本部で割り当てられた学校が審判を行う。その後は敗者審判とする。
 - ・ 決勝、準決勝の線審、補助員はベスト8で敗退した学校が行う。

(2)個人戦の審判について

- ・シングルの審判は2名が対角線でそれぞれ主審と線審、得点板と線審を兼ねて行う。
 - ・ダブルスの審判は4名が団体戦の審判と同様に行う。
 - ・大会本部が指定した2試合分の選手がお互いに審判を行う。
(試合番号1と2がセットの場合、試合番号1の試合の審判を試合番号2の選手が行い、試合番号2の試合を試合番号1の選手が行う)
 - ・決勝、準決勝の線審、補助員はベスト8で敗退した選手が行う。
- (3)団体戦および個人戦の決勝・準決勝の主審は原則として教員または県中体連から委嘱された審判が行う。
- (4)審判は正しいジャッジ、正しいコールを常に心がけること。
- (5)主審が判断できない場合は、審判長の助言、判断を仰ぐこと。

5. その他

- (1)選手は上衣背面に、縦 20cm、横 30cm の範囲内に学校名・姓を表示したゼッケンをつける。(4点止めを原則とする)
- (2)上衣は短パンの中に入れる。
- (3)長ズボン、七分丈のズボンでの参加は認めない。
- (4)生徒指導上問題のある生徒の参加は認めない。
- (5)監督・コーチがベンチ入りする際は、IDカードを身に付けること。
- (6)当該校の学校長が認め、所定の手続きを経たコーチについては、監督同伴でベンチ入りを認める。
- (7)大会の会場準備は、1日目は宇河地区、2日目は芳賀・下都賀地区とする。
- (8)朝の練習時間を次のようにする。(準備の関係で変更することもある。)
- 9:20 ~ 9:25(対戦表1/4ブロック左上) 9:25 ~ 9:30(対戦表1/4ブロック左下)
9:30 ~ 9:35(対戦表1/4ブロック右上) 9:35 ~ 9:40(対戦表1/4ブロック右下)
- (9)練習終了後、すぐに諸連絡を行う。(開会式は行わない)
- (10)ビデオカメラでの撮影を行う場合は、各校1台までの使用を認める。ただし、フロアではなく観客席からの撮影とすること。会場内のコンセント使用は禁止とする。なお、ビデオカメラを使用するのは教員のみとし、生徒は触れないこと。また、撮影した映像を大会本部の許可なく不特定多数に配信することを厳禁とする。